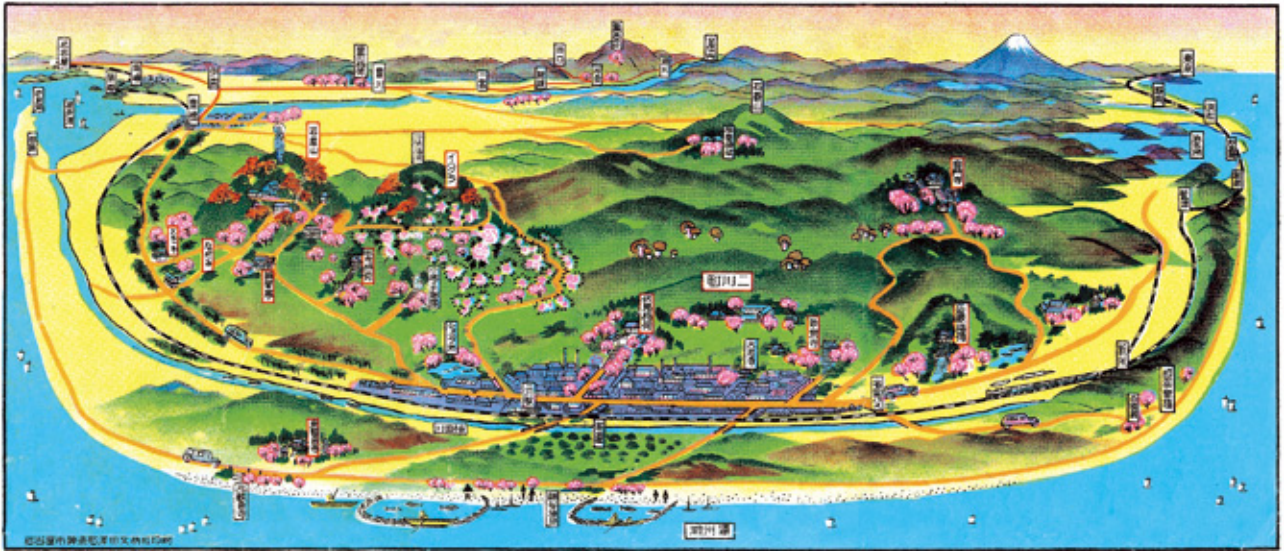


平成 19 年 7 月	二川町で住民組織「二川宿まちづくり会」が発足
平成 19 年 10 月	二川宿（二川町部分）を景観条例に基づく「景観形成地区」に指定
平成 19 年 10 月	「二川宿まちづくり会」を景観条例に基づくまちづくり団体に認定
平成 20 年 9 月	「二川宿まちづくり会」が「二川宿まちづくり協定」を締結
平成 21 年 3 月	二川宿景観形成地区整備計画を策定
平成 22 年 7 月	大岩町東で住民組織「大岩町東まちづくり会」が発足
平成 22 年 10 月	二川宿景観形成地区の拡大（大岩町東部分）
平成 22 年 10 月	「大岩町東まちづくり会」を景観条例に基づくまちづくり団体に認定
平成 23 年 7 月	「大岩町東まちづくり会」が「大岩町東まちづくり協定」を締結
平成 23 年 12 月	二川宿景観形成地区整備計画を改訂（大岩町東部分を追加）
平成 25 年 1 月	指定区域のうち瀬古道の区間の表示内容を変更
平成 27 年 4 月	大岩町中で住民組織「大岩中まちづくり会」が発足
平成 27 年 8 月	二川宿景観形成地区の拡大（大岩町中部分）
平成 27 年 8 月	「大岩中まちづくり会」を景観条例に基づくまちづくり団体に認定
平成 28 年 4 月	「大岩中まちづくり会」が「大岩中まちづくり協定」を締結
平成 28 年 5 月	平成 28 年度都市景観大賞（都市空間部門）の大賞（国土交通大臣賞）を受賞
平成 28 年 11 月	二川宿景観形成地区整備計画を改訂（大岩町中部分を追加）



二川宿を中心とした案内図…「東海道線 二川名勝案内」(二川町振興会発行:昭和十年代刊行)より

参考文献

- ◆1 「二川 水と緑と歴史のまち(二川地区環境整備基本計画調査報告)」 S60年3月
発行:豊橋市都市開発部都市計画課
調査編集:社団法人東三河地域研究センター 豊橋技術科学大学地域研究プロジェクトチーム
- ◆2 「二川宿総合調査報告書」 H11年3月
編集・著者:愛知大学教授 藤田佳久、愛知大学教授 印南敏秀
豊橋技術科学大学名誉教授・愛知工業大学教授 小野木重勝
発行:豊橋市教育委員会
- ◆3 「東海道五十三次宿場展Ⅹ ～二川・吉田～」 H13年2月
編集・発行:豊橋市二川宿本陣資料館
- ◆4 「豊橋市二川宿本陣資料館展示案内」 H18年3月
編集・発行:豊橋市二川宿本陣資料館
- ◆5 「校区のあゆみ 二川」 H18年12月
編集:二川校区総代会、二川校区史編集委員会
発行:豊橋市総代会
- ◆6 「二川宿古写真展」 H8年4月
編集・発行:豊橋市二川宿本陣資料館
- ◆7 豊橋市指定有形文化財 商家「駒屋」
(主屋・脇門・離れ座敷・渡り廊下・茶室・南土蔵・中土蔵・北土蔵・北蔵)保存修理工事報告書 H27年3月
編集・発行:国立大学法人 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 泉田 英雄



歴史の薫るまちづくり

「二川宿景観形成地区」 マークの意味

- 背後の円は、二川の伝統的な味をつくり出した味噌、醤油の「たる」を表現しています。
まちづくりの活動が将来にわたって続き、質の高い味わいのあるまちとなることを期待してデザインされています。
- 2棟の建物は、二川宿の歴史的な建造物である「切妻平入りの町家」と「蔵」を表現しています。
宿場町の伝統的なまち並みデザインの基本形が、将来にわたって受け継がれていくことを期待してデザインされています。
- 受け皿の様に横に延びるラインは、ふたつの枡形を有する「二川宿の旧東海道」を表現しています。
まちづくりの活動が安定し、広がっていくことを期待してデザインされています。
- 人物は、二川宿本陣まつりにも登場する「奴踊り」を表現しています。
まちづくりの活動が、勢いよく継続することを期待してデザインされています。

◆◆◆ 二川宿景観形成地区整備計画 ◆◆◆

平成28年11月改訂版

発行 : 豊橋市都市計画部都市計画課

TEL : 0532-51-2616

URL : <http://www.city.toyohashi.lg.jp/>

